

【11 月】

豊岡本館の行事カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 休館日	4 ゆりかご	5	6	7 リサイクル いっしょにおはなし会
8 リサイクル	9	10 休館日	11	12	13	14 としよかのじかん
15	16 おでかけとしよ	17 休館日	18	19	20 映画会	21 映画会
22	23 休館日	24 休館日	25 ママパパ読書タイム	26	27	28
29	30 整理日					

【12 月】

日	月	火	水	木	金	土
		1 休館日	2 ゆりかご	3	4	5 いっしょにおはなし会 ママパパ読書タイム
6	7	8 休館日	9	10	11	12 としよかのじかん
13	14	15 休館日	16	17	18 映画会	19 映画会
20	21 おでかけとしよ	22 休館日	23	24	25	26
27	28 整理日	29 休館日	30 休館日	31 休館日		

豊岡市立図書館

☎ 0796-23-6151 (本館)

mail:toyolib@city.toyooka.lg.jp



スマホサイト



LINE



X

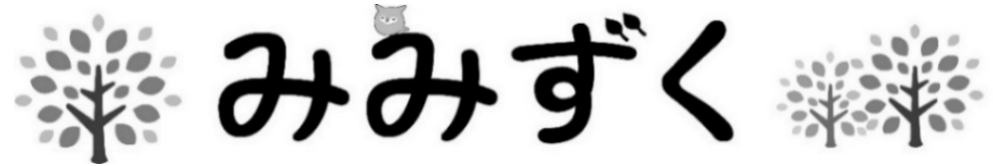


Facebook



Instagram

(旧 Twitter)



★リサイクルブックフェア開催

図書館で不要となった本や保存期間の過ぎた雑誌を無料で提供します。

【豊岡本館】：11 月 7 日（土）→ 雑誌のみ ・ 8 日（日）→ 図書のみ

【日高分館】：11 月 8 日（日） 【出石分館】：11 月 14 日（土）

【竹野分館】：11 月 28 日（土）・ 29 日（日）

※ 城崎分館、但東分館は 10 月に終了しました。

時 間：午前 10 時～午後 3 時

対 象：利用者カードをお持ちの方

その他：持ち帰り用の袋をご用意ください。

詳しくは各開催館にお問い合わせください。



【あなたのイチ推し本】

今回、本を紹介していただくのは・・・

豊岡総合高校 3 年 ^{こばやし てんご} 小林 天護 さんです。

利用者の方のオススメ本を
紹介してもらいます♪

『永遠の 0』 百田 尚樹 // 著 講談社文庫



太平洋戦争末期、臆病者と ^{さげす} 蔑まれた零戦搭乗員・宮部久蔵の真実を孫たちが解明していく物語です。戦争の光と影が描かれていて命の価値が軽視される時代のなかで、人間としてどう生きるかを深く考えさせられました。生きるために戦うという信念を持ち続けた宮部の姿が強く心に残りました。



読書の秋は図書館へ！

2026年10月1日(木)～11月29日(日)

お楽しみ企画！

ブック
ビンゴ

ミッションに挑戦して
うれしい特典！

▷市内の図書館を巡って
ミッションに挑戦しよう！
▷クリアすると先着でプレゼントが
もらえるよ！

台紙はカウンターで配布します。

全館共通
テーマ展！

10月24日(土) 本館
としょかん
まつり

推し本総選挙

投票で集まったみなさんのおすすめ本
を展示します！
借りてくれた人に先着で
オリジナルしおりをプレゼント！

さらに！

◎各館ミニイベント
◎リサイクルブックフェア
◎ママパパへの読書タイムプレゼント
…など、盛りだくさん！

期間中は
貸出点数が2倍に！

詳しくは図書館 HP をチェック！



図書館 HP

【問合せ】豊岡市立図書館 本館 ☎0796-23-6151 または図書館各分館

こちら図書館情報局 ～目指せ図書館マスター～

豊岡市立
図書館

2026 上半期 貸出ランキング TOP 5



【一般書】

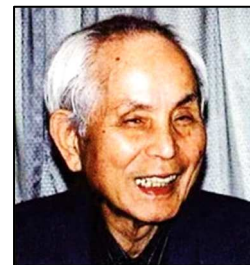
- | | |
|----|-------------------------|
| 1位 | カフェの帰り道
嶋津 輝／著 |
| 2位 | 成瀬は都を駆け抜ける
宮島 未奈／著 |
| 3位 | 暁星
湊 かなえ／著 |
| 3位 | マスカレード・ライフ
東野 圭吾／著 |
| 4位 | イン・ザ・メガチャーチ
朝井 リョウ／著 |

【児童書】

- | | |
|----|---------------------------|
| 1位 | はちうえはぼくにまかせて
ジーン ジオン／作 |
| 2位 | かばくん
岸田 衿子／作 |
| 3位 | スイミー
レオ レオニ／作 |
| 4位 | 宇宙でウンチ
A.ボンドー＝ストーン／作 |
| 4位 | だるまさんが
かがい ひろし／作 |

▼ ふるさと自慢 ▼ ～ 知っていますか郷土の偉人 ～

森田 子龍 (もりた しりゅう) [豊岡]



1912年豊岡市上陰生まれ。戦後の前衛書道を世界的に牽引した書家。表面的な字形にとらわれない生命感あふれる抽象表現「墨象」を切り開き、海外でも多くの展覧会を開催するなどの功績が認められた。阪神大震災に関する神戸新聞の企画記事「生きる」の題字を書くなど、晩年まで精力的に活動し続けた芸術家である。

関連図書

『子龍 自選作品』 森田 子龍／編著 墨美社
『生誕百年 森田子龍展』 豊岡市教育委員会／編集・発行

略歴『豊岡偉人伝』より